

No b VII号キャビン換気計画について

キャビン内に設置しているバッテリー、釣楽リモコン、インバータ等の機器保護の為、夏季に高温になるキャビン換気について検討し・計画した。

日本小型船舶機構（神戸）に、キャビンに穴をあけ、ルーバー等を設置した時、船検に通るか問い合わせたところ下記の通り問題が無かったので次のとおり計画した。

- ① キャビンにルーバーをつけても船検は通る。
- ② 大規模な改造でないので、臨時検査は受けなくてよい。
- ③ 設置した機材の周囲をしっかりとシールすること。

[I]左舷側換気（吸引を期待）

ラウンドベンチレーター2基を左舷のキャビン壁の下付近（舷側より下側の通路際）に前方と後方に分けて設置する。貫通穴は60mm、4本のビス止め。周りをシール。



加工は、ホールソー。サイズが無ければ小さい目にあけた穴を削って拡大する。

(比較検討したが棄却した案)

吸引力を期待する為、ソーラーベンチレーターについて検討した。

水平設置でなく、鉛直に設置した時の稼働についてY's gearに問い合わせた結果、稼働能力が落ちることがわかった。また、12000円と高額であることから棄却した。



太陽の光で常に室内を換気。

ソーラーベンチレーター				
Q8T-MSK-G00-039				
¥12,100 (¥11,000) [70]				
■特長				
●長期間換気が出来ないボートやヨットの室内はカビやバクテリアの温床となりがちです。				
●太陽の光で常に室内を換気できます。室内は常にフレッシュな空気が充滿します。				
●弱い太陽の光でもファンが良く回ります。				
■仕様				
直径 (mm)	取付高さ (mm)	取付穴径 (mm)	取付深さ (mm)	取付ビスサイズ
215	33	120	35	5mm×6本

[II]キャビン後部側換気（高温時の排気を期待）

ルーバーベンチレーター1 基をキャビン後部壁の上部付近（メンテナンス用板蓋上）に取り付ける。室内灯を移設する必要がある。壁が2重構造になっているため雨がかからないこと、また、上架中キャビン上部を覆っているシートで塞がれず、空気は下側の開口部から放出される。



200×100の開口部の加工は4隅を10mmのドリルで穴を開け、電動糸鋸で切断する。ビス4本でとめる。

部品代の合計は 3190円である。